

地域のみんな
防災マップを作ろう

令和4年7月1日

倉敷市総務局
防災危機管理室防災推進課

beginning はじめに

>>「防災マップ」って、何？

- ・災害時に役立つもの、危険なものや場所を、この地域に住んでいる皆さん自身が、気になることを書き込んで作る地図を「**防災マップ**」といいます。
- ・防災活動は身近なところから、まずは自分が住む地域について考えてみましょう。

>>なぜ防災マップを作るの？

- ・防災についての意識が高まります。
- ・地域のコミュニケーションが高まります。

>>>地域の防災力の向上

>>防災マップ作成のポイント

- ・楽しく、無理のない計画を立てましょう。
- ・最初からうまくできるはずがありません、できることから始め、活動を継続することが大事です。

>>防災マップづくりの流れ

- ・マップは次の3ステップでつくります。
 - ① 計画
 - ② まち歩き（1～2時間程度）
 - ③ マップづくり（2時間程度）

step1

計画しよう

①>>想定する災害を決める

- ・災害の種類により危険な場所は変わります。
- ・地震、水害、高潮など、災害の種類を決めましょう。

②>>範囲を決める

- ・まち歩きをする範囲を決めましょう。
- ・地域が広い場合は複数回に分けましょう。
- ・目安は1時間で回れる範囲です。

③>>点検内容を決める

- ・危険な場所、安全な避難経路など、点検する内容を決めましょう。
- ・点検用のチェックシートを作りましょう。

④>>役割分担、スケジュールを決める

- ・全体の進行役、班ごとのまとめ役を決めましょう。
- ・まち歩きに1時間、マップ作りに1～2時間が目安です。

⑤>>日時、参加者を決める

- ・多くの人に参加できる日程にしましょう。
- ・幅広い意見を聴くため、女性、子供、高齢の方などの参加も必要です。

step1

計画しよう

⑥>>会場を手配する

- ・まち歩きの後で、地図を広げて作業できる会場を確保しましょう。

⑦>>必要なものを準備する

- ・チェックシート
- ・地図(歩きながら書き込む地図、みんなで作業する大きな地図)
- ・画板
- ・筆記用具
- ・カメラ
- ・メジャーなど
- ・写真を印刷するプリンタ
- ・丸いシール(青、緑、赤、黄)

point

白地図は防災推進課で準備できます。必要な時にご連絡ください。

step2

まちを歩こう

①>>班分け、役割を決める

- ・まち歩きを始める前に、班分けをしましょう。
- ・班は5～7人程度が目安です。
- ・班の中で、点検係、カメラ係、チェックシート記入係など役割を決めましょう。

②>>点検する内容を確認する

- ・チェックシートを利用し、点検する内容を確認しましょう。

③>>点検箇所を確認する

- ・チェックシートで点検箇所を確認し、地図に書き込みましょう。
- ・カメラで撮影した場合、撮影ポイントがわかるよう地図へメモ書きしましょう。
- ・必要があれば、溝の深さなども計測しておきましょう。

point

>>いろいろな人の目線でまちを歩いてみましょう。

- ・車いすを使用して障がい者の目線で・・・
- ・子供や高齢者の視点で・・・
- ・小雨の中でもあえて実行してみましょう。雨が降っているからこそその発見があるかもしれません。

防災マップをつくろう

①>>みんなで大きな地図に書き込む

・チェックシートで点検箇所を確認し、歩きながらメモ書きした地図から作業する大きな地図に内容を整理して書き込みましょう。

●道路(片道1車線以上) …… 茶色

●鉄道(水島臨海鉄道) …… 黒色

●河川・水路などの水利 …… 青色

※河川は堤防を、湖沼は輪郭線をなぞる。

●指定緊急避難場所、避難できそうな広い公園、
緊急避難できる高い場所 …… 緑色

●病院・薬局など……紫色

●飲食店や物資を調達できる店など……ピンク色

・また、シールを使って色分けすると見やすくなります。

● 安全な場所 緑のシール

● 災害時に役に立つもの 青のシール

● 危険な場所 赤のシール

● 注意が必要な場所 黄のシール

防災マップをつくろう

②>>写真を貼る

- ・写真をプリンタで印刷します。
- ・写真に簡単なコメントを書き込みます。

※今回の作業では、写真は貼らず、撮影したデータをみなさんで確認するまでにします。

③>>安全な避難経路を決める

- ・地図への書き込みが終了後、最後に安全な避難経路を考えましょう。

④>>意見交換をする

- ・班ごとに、まち歩きの結果や意見交換の内容を発表しましょう。
- ・普段なにげなく歩いていた場所が、「視点を変えて歩いてみたら危険だな」と気付いたりします。
- ・順番に一人ひとりが発言していくと、参加者全員が話し合いの場に参加できます。

sample 防災マップの例



凡 例		
区分	記載例	
安全な場所	指定緊急避難場所	
	一時避難所	
	広い公園・広場 緊急避難できる高い場所	
災害時に役に立つもの	消防署・消防施設 消火栓・消火器 警察署・交番 病院 薬局 コンビニ・スーパー 防災資材のある店 自動販売機 公衆トイレ 公衆電話 掲示板	
	危険な場所	崖（ガケ）・急傾斜地 山から水が流れ込む場所 浸水の恐れのある低地 狭い道・行き止まり 崩れそうなブロック・塀 水路と道路の境に柵がない場所 夜は暗くて見えにくい道 過去に災害にあった場所



check list

チェックリスト

No.	区分	記載例	備考
1	安全な場所	指定緊急避難場所	
2		一時避難場所	集会所など
3		広い公園・広場	駐車場など
4		緊急避難できる高い場所	
5		堅牢な建物	
6	災害時に役に立つもの	消防署・消防施設	
7		消火栓・消火器	
8		警察署・交番	
9		病院	
10		薬局	
11		コンビニ・スーパー	
12		防災資材のある店	ホームセンター、スーパーなど
13		自動販売機	
14		公衆トイレ	
15		公衆電話	洋式、和式
16		掲示板	
17	A E D		
18	危険な場所	崖（ガケ）・急傾斜地	
19		山から水が流れ込む場所	
20		浸水のおそれのある低地	地下道なども含む
21		狭い道・行き止まり	
22		崩れそうなブロック・塀	
23		水路と道路の境に柵がない場所	
24		夜は暗くて見えにくい道	
25		過去に災害にあった場所	